

2012 年度報告書（研究員）

氏 名	福田 順
職 位	研究員（短時間）
研究概要	
<p>日本企業における終身雇用制度と年功賃金制度が、女性正社員比率、女性管理職比率、ポジティブ・アクション施策数に与える影響を分析した。その分析結果を具体的に述べる。人事管理制度の改革に積極的な企業は、ポジティブ・アクション施策の実施に積極的であることが分かった。その一方で、人事管理制度の改革と女性正社員割合および女性管理職割合の関係については、ほとんど関連が見られなかった。</p> <p>さらに、日本企業を4類型に分けて比較したところ、「終身雇用の放棄+成果主義の導入」の企業で女性管理職の割合が最も高かった。一方、ポジティブ・アクション施策数については、「終身雇用の維持+成果主義の導入」の企業で導入数が最も多かった。このことから、革新的な企業で女性管理職の登用やポジティブ・アクションの導入に積極的である一方で、ポジティブ・アクションの導入は女性管理職の増加とは直接的な関連はないと判断できる。さらに重回帰分析を行って、雇用システムと女性の活躍ないしポジティブ・アクションの関係を、その他の要因を統制した上で明らかにすることを試みた。その結果、J型をベースとした場合、①「終身雇用の放棄+成果主義の導入」の企業では女性管理職割合は大きい、②「終身雇用の維持+成果主義の導入」および、「終身雇用の放棄+成果主義の導入」の企業ではポジティブ・アクションに積極的、以上2点が明らかになった。</p>	
業績リスト（著書、論文、報告、その他に分けて主要なものを記入する）	
<p>著書</p> <p>①コーポレート・ガバナンスの進化と日本経済、京都大学学術出版会、2012年4月。</p>	
<p>論文</p> <p>①女性の就労に与える母親の近居・同居の影響、社会政策学会『社会政策』第4巻第1号、2012年6月、pp. 111-122、査読あり。（久本憲夫教授との共著）</p> <p>②”The Effects of Working Hours Schemes on Overtime Working Hours in Japan”, <i>Evolutionary and Institutional Economics Review</i>, Vol. 9, No. 1, 2012, pp. 1-13, 査読あり。</p> <p>③“Human Resource Management and Corporate Governance in Japanese Small- and Mid-Sized Firms” , <i>Proceeding of the 5th Next-Generation Global Workshop</i>, 2013, pp. 395-410.</p>	

報告

- ①日本企業の雇用戦略とコーポレート・ガバナンス、『社会政策学会第 124 回大会』（駒澤大学）、2012 年 5 月。
- ②上場企業の人事システムの分岐と女性労働、『社会労働研究会』（大阪ガーデンパレス）、2012 年 9 月。
- ③日本企業における女性労働とコーポレート・ガバナンス改革、『社会政策学会第 125 回大会』長野大学、2012 年 10 月。
- ④“Human Resource Management and Corporate Governance in Japanese Small- and Mid-Sized Firms,” *The 5th Next-Generation Global Workshop*（京都大学）、2012 年 11 月。